

工業「実 習」	単位数	2単位
	学科・学年	土木科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	土木工事の基礎となる「測量」についての基本的な技術を身に付ける。 また、正しい器械・器具の取り扱いを理解し、班員が協力し作業効率を高め、よい成果が得られるようにする。
使用教科書・副教材等	測量（実教出版）

2 学習計画及び評価方法等

（1）学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学 期	1 測量実習の心得について	4	・個々の実習の目的をよく理解し、何を準備し、どのように実習を進めるかを理解する。 ・巻尺による距離測量の方法、T Sの据付方法について理解し、技術を身に付ける。	
	2 距離測量	5		
	3 トラバース測量	6		
	(1) 巻尺による距離測量 (2) T Sの据付	7		
2 学 期	(3) T Sによる水平角観測 4 水準測量 (1) 昇降式による水準測量 5 閉合トラバース測量	8	・T Sによる水平角観測の操作方法、野帳の記入方法を理解し、正しい成果を求められるようにする。 ・昇降式による水準測量の観測方法、野帳の記入方法を理解し、正しい成果を求められるようにする。 ・閉合トラバースの外業を理解する。	
		9		
		10		
		11		
		12		
3 学 期	6 閉合トラバース計算	1	・トラバース測量の内業を理解する。	
		2		
		3		

（2）評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・土木工事の基礎となる「測量」について関心を持ち、意欲的に取り組もうとする態度が見られるか。
思考・判断・表現	・実習の目的をよく理解し、どのように作業を進めればよいか。また不測の事態にも正しく対応できるか。
技能	・実習内容及び手順、器械の取り扱いなどの技術を身に付け、正しくデータ処理ができているか。
知 識 ・ 理 解	・測量実習の目的を理解し、実習内容がどのような場面で活用されているか理解できているか。
・学習の状況は、上記の4つの観点で評価します。具体的には、「服装」「出席率」「実習態度」「提出物」等により、1年を通して総合的に判断します。	

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

・正しい服装で、安全に実習が進められるよう「留意事項」を守ってください。 ・器械・器具の取扱いは、ていねいにし使用後は手入れと整備を行ってください。 ・課題の提出は、期限を厳守してください。 ・班員が協力し取り組むようにしてください。
--